

第1弾の車両は楽器輸送を担うことから音符をデザイン



越野運送

【大阪】越野運送（越野泰弘社長、大阪市都島区）では、2022年に創立90周年を迎えるに当たり、フルラッピングトラックを2台稼働させている。21年11月に1台、12月に1台納車。第1弾の車両は音符を、第2弾では星を、それぞれデザインした。顧客からも好評を得ており、100周年に向けて一層士気を高めている。

今回ラッピングした2台は共に4トウイングエアサスペンション車で、主に精密機械や楽器を輸送。同社では長年、吹奏楽部のコンクールなどの楽器輸送を手掛けていることもあり、第1弾の車両は音符をメインとするラッピングにした。第2弾は越野泰弘専務がデザインを担当し、輝く星をイメージ。「社員が光り輝く存在になれるように」との願いが込められているという。

どちらの車両もコーポレートカラーの青がベースに使われており、社員一同も納得の出来だとい

ラップトラ好評

う。越野社長は「イベント時、音符がデザインされた車両で楽器が運ばれるのを見て、生徒さんたちに喜んでもらえることがあった。お客さまに感激してもらえて、ラッピングの意義も大きかったのではないかと感じていた」と話す。

今年に入って新型コロナウイルスの影響が強まる中、イベントの自粛、中止が相次いでいる。この

90周年 音符・星デザイン

ような状況ではあるが、顧客や社員が少しでも前向きになれるよう、更に事業に取り組んでいくという。

「祖父が90年前に立ち上げて以来、自分で3代目になる。社員の協力やお客さまからの支援もあり、ここまでやってこられた。コロナ禍の影響もあり、大勢で集まるのは難しくなっているが、秋口の落ち着いた時期にでも社内向けの行事をやりたいと考えている。創立100周年に向けて、一層社業に励んでいきたい」（越野社長）

（黒須晃）